

リミニストリート、アジア、ヨーロッパ、北米で Great Place to Work® 認証を

連続受賞、リーダーシップ賞受賞

日本、韓国、イスラエル、シンガポール、英国、米国のリミニストリート従業員が、公平性と一体感を重視した卓越した職場文化への企業の取り組みを称える

(米国ラスベガス – 2025年3月20日) – エンタープライズソフトウェアのサポート、イノベーションソリューションをエンドツーエンドで提供するグローバル企業であり、Oracle、SAP、VMware ソフトウェアに対する第三者保守サービスの主要なプロバイダーである [Rimini Street, Inc.](#) (Nasdaq: RMNI) は、本日、日本、イスラエル、シンガポール、英国、米国において複数年連続で「Great Place to Work®」認定を受けたこと、さらに韓国の「Best Workplaces™」において、リミニストリアートの CEO である Seth Ravin が「最も尊敬される CEO 賞」を受賞したことを発表しました。

Great Place to Work® は、職場文化、従業員体験、そして市場をリードする収益、従業員の定着率、イノベーションの向上を実現するリーダーシップ行動に関する世界的権威です。Best Workplaces™ は、業界および地域の同業他社と比較した詳細な Culture Brief™ の評価に基づき授与されます。

リミニストリアートのグローバル人事担当シニア・バイスプレジデントである Brian Almas は、次のように述べています。「私たちリミニストリートは、多様な文化が融合したカラフルなるつぼでありながら、成功への情熱を共有しています。私たちは、リミニストリアートをすべての従業員にとって素晴らしい職場にするために尽力している、CEO をはじめとするグローバルな従業員と情熱的なリーダーたちを誇りに思っています。」

【リミニストリアートの従業員は、年齢、性別、人種に関係なく公平に扱われていると回答】

今回の受賞に伴って実施された Rimini Street 従業員の匿名調査により、以下の結果が明らかになりました。

- 年齢に関係なく公平に扱われている (日本 98%、イスラエル 96%)
- 性別に関係なく公平に扱われている (シンガポール 100%、日本 98%、イスラエル 96%)
- 人種に関係なく公平に扱われている (イスラエル・日本 96%)

【リミニストリアートの従業員は、歓迎されていると感じ、意見が尊重され、地域貢献にも満足していると回答】

その他の主な調査結果は以下の通りです。

- 入社時に温かく迎えられていると感じた (シンガポール・英国 100%、イスラエル・日本 96%、米国 94%)
- 上司や監督者と仕事について率直かつオープンに話し合える (英国 95%)
- 会社の地域社会への貢献に満足している (米国 92%)

- 必要だと思ったときに休暇を取ることができる（米国 91%）

Brian Almas は、次のように述べています。「私たちの開かれたポリシーによって、従業員は自由に発言し、会社の未来を築くことに積極的に参加することができます。対面でも、オンラインでも、リモートでも、リミニストリートでは社員が一丸となって取り組んでいます。」

【従業員募集中】

従業員を第一に考え、地域社会への貢献にも力を注ぐリミニストリートで、あなたのキャリアを成長させませんか？

Rimini Street の採用ページをご覧ください:

<https://www.riministreet.com/jp/company/careers/>

リミニストリートについて

ラッセル 2000® カンパニーであるリミニストリート（Rimini Street, Inc. (Nasdaq: RMNI)）は、エンドツーエンドのエンタープライズソフトウェアサポート、イノベーションソリューションのグローバルプロバイダーであり、Oracle、SAP、VMware のソフトウェア製品に対する第三者保守サービスにおいて業界をリードする企業でもあります。リミニストリートは、エンタープライズアプリケーション、データベース、テクノロジーソフトウェアの実行、管理、サポート、カスタマイズ、設定、接続、保護、監視、最適化を行う統合ソリューションの包括的なポートフォリオを提供しています。Fortune Global 100、Fortune 500、中堅企業、公共機関、政府系組織などの数千件の顧客が、リミニストリートを、業務遂行に必要な不可欠な、信頼できる実績あるエンタープライズソフトウェアソリューションプロバイダーとして採用し、その結果、より優れた運用成果を達成し、数十億ドルのコスト削減を実現し、AI やその他のイノベーション投資に資金を振り向けています。

詳細は、<https://www.riministreet.com>、をご覧ください。また X、Facebook、Instagram、LinkedIn でのフォローもお待ちしております。

将来予測に関する記述

本書に含まれる一部の記述は、歴史的事実ではなく、米国の 1995 年私募証券訴訟改革法のセーフハーバー規定における将来予想に関する記述に該当します。将来予想に関する記述は、一般に、「予測する」、「信じる」、「続ける」、「可能性がある」、「現時点では」、「推定する」、「期待する」、「見込む」、「将来」、「意図する」、「場合がある」、「かもしれない」、「見通し」、「計画する」、「起こり得る」、「目標とする」、「あり得る」、「予想する」、「推定する」、「思われる」、「求める」、「はずである」、「予定する」、「だろう」などの単語やフレーズまたは表現が使用されています。これらの将来予想に関する記述は、将来の出来事、将来の機会、世界的な拡大およびその他の成長構想に関する取り組み、ならびにかかる構想に対する当社の投資に関する当社の期待に関する記述を含みますが、これらに限定されるものではありません。これらの記述は、様々な仮定および経営陣の現在の予想に基づくものであり、実際の業績を予測するものではなく、また、歴史的事実を記述するものでもありません。これらの記述は、リミニストリアートの事業に関する多くのリスクおよび不確実性の影響を受け、実際の結果は大きく異なる可能性があります。これらのリスクおよび不確実性には、次のもの（但し、これらに限定されません。）が挙げられます：係属中の訴訟または新たな訴訟（未決の上訴申立の処分および新たな請求を含みます。）の防御における不利な展開およびこれに関連するコスト。リミニ II 訴訟に関連した裁判所の差止命令に従うために負担する追加費用ならびにこれらの努力が将来の期間の収益およびコストに対して与える

影響。マクロ経済傾向の影響および外貨為替の変動などを含むリミニストリートの実業環境の変化、ならびにリミニストリートが事業を行う業界やリミニストリアートの顧客が事業を行う業界に影響を与える金融、経済、規制、政治面の一一般的な状況。エンタープライズソフトウェア管理およびサポートの環境の進化、ならびに顧客を惹きつけ保持し、顧客基盤へさらに浸透する能力。ソフトウェアサポートサービス業界における激しい競争。新製品、パートナーシップ、アライアンスプログラム（ServiceNow との提携を含むがこれに限定されない）に関する当社の期待。収益を拡大する能力、収益を正確に予測する能力、現在の収益予想および製品拡大を踏まえたコスト管理の取り組みの結果。前年度および当年度における人員削減による影響と、それに伴う組織再編費用。当社の獲得可能な最大市場規模の推定、および他のプロバイダーを使用した場合の顧客の節約額の予想。当社の販売サイクルにおける時期の変動。顧客維持率に関連するリスク（顧客維持率を正確に予測する能力を含みます。）。当社経営陣の1人または複数のメンバーの終任。有能な追加の人材（営業担当を含みます。）を惹きつけて保持し、キーパーソンを保持する当社の能力。当社の事業計画、将来の成長能力、収益性を達成し維持する能力。係争中のリミニII訴訟の判決により影響を受ける可能性がある、オラクル PeopleSoft 製品向けのサービス提供を終了する計画。当社の株価の変動性とそれに伴う証券取引所の上場要件の遵守。有利な条件で株式またはデットファイナンスによる資金調達を行う必要性および能力、ならびに当社の成長戦略への投資の増加に資するために事業からキャッシュフローを生み出す能力。グローバルオペレーションに関するリスク。当社のITシステムに対する不正アクセスおよびその他のサイバーセキュリティ上の脅威を防ぐ能力。当社が使用する可能性のある、または当社の第三者ベンダーおよびサービスプロバイダーが使用する可能性のある生成型人工知能（AI）技術に関連する欠陥。当社の従業員および顧客の機密情報を保護し、プライバシー規制を遵守する当社の能力。財務報告に係る有効な内部統制システムを維持する当社の能力。当社のブランドおよび知的財産を維持、保護および強化する能力。税法の改正を含む各法令の改正や当社の税務ポジションに対する不利な結果、関税コスト（特に新政権の政策案を踏まえた関税救済措置や関税軽減能力を含む）、当社による適切な税務引当金の計上不足、または当社の繰越欠損金からの利益実現能力。環境、社会、ガバナンス（ESG）に関する事項が当社の評判や事業に与えるあらゆる負の影響、および当社の事業がそのような事項に関する報告から追加のコストやリスクにさらされること。米国政府および国際政府との良好な関係を維持し、政府機関/政府関連機関との新規契約を獲得する能力。当社の信用枠の継続的な債務返済義務および当社の事業に関する財務・業務上のコベナントならびに SOFR または他の金利ベンチマークへの移行による不確実性を含む関連金利リスク。当社の流動性要件を満たすための現金および現金同等物の充足度。当社の株式買戻プログラムに基づく買戻の量および時期（もしあれば）ならびにかかるプログラムを通じて株主価値を高める当社の能力。リミニストリアートの持分証券の長期価値に対する不確実性。当社または当社の顧客の事業を阻害する大惨事。2025年2月27日に提出されたリミニストリアートの Form 10-K による年次報告書において「リスク要因」という見出しで説明され、リミニストリアートの将来の Form 10-K による年次報告書、Form 10-Q による四半期報告書、Form 8-K による臨時報告書、およびリミニストリアートの米国証券取引委員会へのその他の提出物によって随時更新されるもの。また、将来予想に関する記述は、本書の日付時点における、将来の事象および見解に関するリミニストリアートの期待、計画または予測を述べたものです。リミニストリアートは、その後の事象および展開により、リミニストリアートの評価が変化することを予想しています。しかしながら、リミニストリアートは、将来のある時点で、これらの将来予想に関する記述を更新することを選択する可能性があります。しかしながら、リミニストリアートは、法令により要求される場合を除き、そのような更新を行う義務を負うことを明確に否認します。これらの将来予想に関する記述は、本書の日付以降のいかなる時点においても、リミニストリアートの評価を表すものとして依拠されるべきではありません。

ロゴ、およびその組み合わせ、その他 TM の付いたマークは、 Rimini Street, Inc.の商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者の財産権を構成するものであり、別段の記載がない限り、 Rimini Street は、これらの商標権者または本書に記載されているその他の企業との提携や協力関係にあるものでもなく、またそれらを支持しているものでもありません。